

交通安全協会は、交通事故をなくすため、幅広い活動を行っています。

交通安全協会の活動は、皆さんからご協力いただいた会費で支えられています。

★運転者会員
3年会費...1,500円 5年会費...2,500円
※ 途中入会の方は、免許の有効期間の残り年数1年当たり500円となります。

★賛助会員
当協会の活動に賛同していただく事業所・団体及び個人で、ご協力いただける額です。

交通安全アドバイザーによる交通安全教室
交通安全イベント・フェスタ等の開催
子ども自転車三重県大会
優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
交通安全の広報啓発
交通安全国民運動中央大会

幼児から高齢者まで対象の交通安全指導
高齢者交通安全教室
交通安全の広報啓発
交通安全の広報啓発
交通安全の広報啓発
交通安全の広報啓発

こうつうあんぜんワークブック
こうつうあんぜんめりえ
新入園児、新入学小学生への交通安全教材の提供
交通事故無料相談の開設

三重県交通安全協会 所在地

地区名	住所	電話番号
三重県交通安全協会	〒514-0004 津市栄町1丁目954栄町庁舎5F	059-228-9636
桑名地区交通安全協会	〒511-0836 桑名市江場626-2	0594-23-9680
いなべ地区交通安全協会	〒511-0206 いなべ市員弁野野320-1	0594-74-4646
四日市地区交通安全協会	〒510-8015 四日市市松原町4-32	059-366-3448
四日市南地区交通安全協会	〒510-0064 四日市市新正5丁目5-5	059-353-2212
四日市西地区交通安全協会	〒510-1222 三重郡熊野町大強原3241	059-394-5456
亀山地区交通安全協会	〒519-0165 亀山市野村4丁目1-27	0595-82-1146
鈴鹿地区交通安全協会	〒510-0237 鈴鹿市江島町3446	059-388-1241
津地区交通安全協会	〒514-0033 津市丸之内22-1	059-227-5550
津南地区交通安全協会	〒514-1101 津市久居明神町2501番地1	059-256-2010
松阪地区交通安全協会	〒515-0019 松阪市中央町366-1	0598-52-5431
大台地区交通安全協会	〒519-2404 多気郡大台町佐原848	0598-82-3090
伊勢地区交通安全協会	〒516-0016 伊勢市神田久志本町1481-3	0596-25-1607
鳥羽地区交通安全協会	〒517-0042 鳥羽市松尾町74番地4	0599-26-2606
尾鷲地区交通安全協会	〒519-3652 尾鷲市古戸町1-50	0597-23-0553
熊野地区交通安全協会	〒519-4324 熊野市井戸町380	0597-89-3701
紀宝地区交通安全協会	〒519-5701 南牟婁郡紀宝町鶴殿1709-2	0735-32-0597
伊賀地区交通安全協会	〒518-0823 伊賀市四十九町下敷免1929-1	0595-23-1944
名張地区交通安全協会	〒518-0751 名張市蔵持町芝出837-3	0595-63-1705

お問い合わせ、お申し込みは各地区交通安全協会・免許事務課(運転免許センター内)まで

交通安全協会は一件でも交通事故をなくし、一人でも多くの方の命を守るために活動しています。
お住まいの地域で悲惨な交通事故をなくすために、当協会の活動にぜひご支援・ご協力をお願いします。

会員の皆様へ協賛店サービス

県内外数百店舗のご協力により、「会員の店」での料金の割引がご利用できます。携帯サイトアドレス及びQRコードからも検索できますので、ぜひご利用ください!

【携帯サイトアドレス】
<http://www.mie-ankyo-mise.com/mobile/>

この表示がある店舗が協賛店です。

対応携帯機種であれば、ここからもアクセスできます。

【QRコード】

三重県交通安全協会では、「協賛店」を募集しています。各地区交通安全協会へお問い合わせください。



(財)全日本交通安全協会作成による「交通ルールの遵守・マナーの向上等のためのロゴマーク」です。

(財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2012 / 初冬号 No.179

発行所
(財)三重県交通安全協会
三重県交通安全活動推進センター
(三重県公安委員会指定)
〒514-0004
津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F
TEL 059-228-9636
URL <http://www.mie-ankyo.com/>

北から南から～各地区の活動～

交通安全協会は交通事故を防止するために幅広い活動を行っています。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 保育・幼稚園、小・中学校への交通安全資材・器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

いなべ地区交通安全協会と熊野地区交通安全協会の2地区の活動は、P2にズームアップ!

わたしはシンボルマスコット「ストッピー」です。

桑名 [交通安全フェスティバル]で「魔法のキーホルダー」作成

四日市北 店舗出入口付近にて広報啓発活動

四日市南 ハンドルキーパー運動推奨店で指定書の交付

四日市西 交通事故なし(梨)キャンペーン

亀山 自転車通学生徒に安全運転呼びかけ

鈴鹿 幼稚園交通安全教室の開催

津 高齢者宅訪問の実施

津南 「交通事故ゼロを目指す日」街頭キャンペーン

松阪 高齢者安全運転自転車大会の開催

大台 大台中学校生徒と共に「事故ゼロを目指す日」キャンペーン

伊勢 二見シーパラダイスにてハンドルキーパー運動の推進

鳥羽 夕焼け小焼けキャンペーンで事故防止呼びかけ

尾鷲 子ども警察官を先頭に紀北町「交通安全パレード」参加

紀宝 紀南高校の生徒50人と共にミルミルウェブで啓発

伊賀 交通安全子どもグラウンドゴルフ大会の開催

名張 「交通安全フェスタ」で子ども約束免許証作成

交通安全協会の活動は、皆様からのご支援・ご協力により、支えられています。

いなべ地区交通安全協会

トラックや福祉バスの前部にバスマスクを装着



いなべ地区交通安全協会は、警察と協働して管内の運送関連企業7社と東員町に協力を求め、トラックや福祉バスの全面に「交通安全運動実施中」の広報幕(通称「バスマスク」)を装着し、住民の方々に交通安全を広報しました。県内では、これまでバスマスクは、路線バスのみ装着していましたが、トラックや福祉バスへの装着は、同協会が初めての試みです。



熊野地区交通安全協会

生徒会役員参加の交通安全キャンペーン



熊野地区交通安全協会は、管内の高校生徒会に参加を求め、下校時に自転車通学の生徒らに自転車の安全利用指導と広報を実施しました。

当日は、生徒会役員6人と一緒に反射材を配布するとともに夕暮れ時のライト点灯を呼びかけるなど、生徒らに自転車乗用中の交通安全意識の高揚を図りました。

秋の全国交通安全運動実施結果 9月21日(金)～30日(日)

	平成24年	平成23年	増減数
総事故件数	1,754	1,637	+117
人身事故件数	275	322	-47
死者数	1	2	-1
物損事故件数	1,479	1,315	+164

期間中の死者数は1人(前年同期比1人減少)で自動二輪車運転中の高齢者が亡くなりました。この結果、昭和42年以降の「秋の全国交通安全運動期間中」の死者数については過去最小となりました。

TSマーク、知っていますか?



平成23年中の三重県内での自転車の人身事故は1,224件で、全交通事故の1割を占めています。特に、自転車が加害者となる自転車対歩行者の事故は、年々増加傾向にあり、高額の損害賠償を請求される事例も増えてきています。

全国で報告されている事故事例

- ・信号無視した男性の自転車が横断歩道を歩行中の55歳女性と衝突し女性が死亡。 **5,000万円の賠償命令**
- ・歩道上で無灯火の男性の自転車が歩行中の62歳男性と正面衝突し、歩行者の男性が死亡。 **3,000万円の賠償命令**
- ・自転車が信号のない交差点で横断中の54歳女性と衝突し、女性は顔の骨や歯を折る重傷。 **1,200万円の賠償命令**



このマークのある自転車安全整備店で、点検・整備を受けてTSマークを貼ってもらうと保険が付帯されます。

TSマークってなに?!

「TSマーク」は自転車安全整備店で自転車安全整備士による点検、整備を終えた「安全な自転車」に貼るシールです。賠償責任保険と傷害保険の2つがセットになった1年間の付帯保険が付いている「安心の証」です。

傷害補償	入院15日以上	一律	10万円
	死亡又は重度後遺障害(1～4級)	一律	100万円
賠償責任補償	死亡又は重度後遺障害(1～7級)	一律	2,000万円

盲導犬と学ぶ 盲導犬募金贈呈式と交通安全教室

三重県交通安全協会は、平成24年9月24日(月)、盲導犬募金贈呈式を津市の「社会福祉法人 清泉福祉会 清泉愛育園」において行いました。

この募金は、当協会が(財)中部盲導犬協会の「ラブ募金」を県内の各店舗等に協力を求め設置(69箇所)し、来店される方々に募金をお願いしているものです。

今回の募金額は、21万3,063円で、盲導犬の育成を通じて交通安全に寄与していただく目的で中部盲導犬協会に贈呈しました。

また、園児には交通安全への意識を高めていただくため交通安全グッズを贈呈しました。



贈呈式後、盲導犬と一緒に学ぶ交通安全教室を開催し、園児40人が参加しました。

盲導犬協会の職員から、「盲導犬は信号の色が識別できないので、車の音で判断して目の不自由な人と一緒に渡っています。また、ハーネスを付けている時は作中だから触ったり、声をかけたりせずに、心の中で応援してあげてくださいね。」と園児に説明を行った後、アイマスクをかけた園職員と盲導犬「カインド」(英語で「親切な」の意)のハーネスを握って、園児と一緒に園内に設置した模擬横断歩道をミニ信号機に従って渡る体験をしました。園児たちは安全を確認すると、ハーネスを握った横断者に「信号は青だから渡れますよ」と声を出して教えてあげたりして、盲導犬と一緒に交通安全について学びました。



盲導犬と体験歩行



清泉愛育園の園児と一緒に記念撮影

園児のほとんどが盲導犬との触れ合いが初めてで園児たちは楽しい時間を過ごしました。



みなさんの温かいご協力、ありがとうございました。



年末の交通安全県民運動

平成24年12月11日(火)～20日(木)

運動の重点

- ① 子どもと高齢者の交通事故防止
(特に、夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通安全対策の推進)
- ② 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③ 飲酒運転の根絶

